



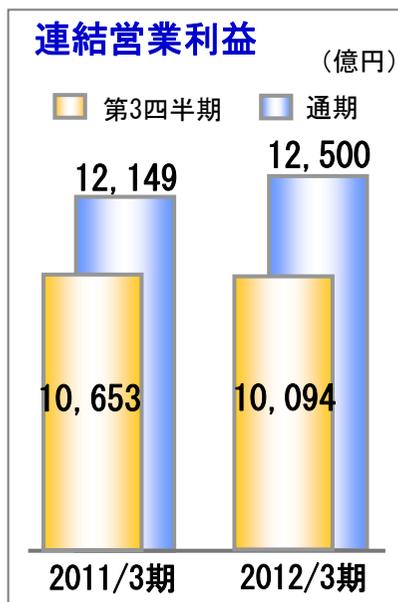
# 2012年3月期 第3四半期決算について

2012年2月6日

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。



## ■ 営業収益は2期連続の増収、営業利益は1兆円確保

### ● グローバル売上の拡大

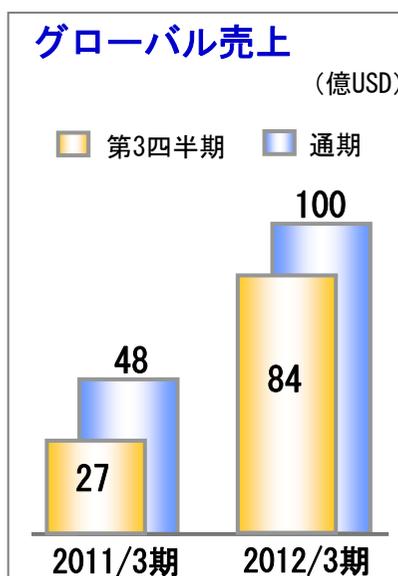
- ・84億USドル、年間目標100億USドルに向け順調な進捗

### ● 移動体事業の成長

- ・スマートフォン販売台数：553万台

Xi 契約数：114万契約に拡大

(1Q末契約数：12万、2Q末契約数：39万)



## ■ 法人税法等の改正に伴い当期純利益見通しを変更

- ・5,450億円→4,650億円 (前回比▲800億円)

# 2012年3月期第3四半期 連結決算の概況



## 【第3四半期決算】

- 2期連続の増収。営業利益は1兆円確保。

## 【業績予想】

- 法人税法等の改正に伴い当期純利益を変更。

(単位：億円)

	2012年3月期 第3四半期実績			2011年3月期 第3四半期実績	2012年3月期 通期業績予想 (2/6公表)	対計画 (11/9公表) 増減額	2012年3月期 第3四半期実績 進捗率
		対前年同期増減額	対前年同期増減率				
営業収益	77,837	+2,410	+3.2%	75,427	105,400	-	73.8%
営業費用	67,742	+2,969	+4.6%	64,774	92,900	-	72.9%
営業利益	10,094	▲ 559	▲ 5.2%	10,653	12,500	-	80.8%
四半期(当期) 純利益 ※	3,592	▲ 991	▲ 21.6%	4,583	4,650	▲ 800	77.2%

※四半期(当期)純利益は、当社に帰属する四半期(当期)純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

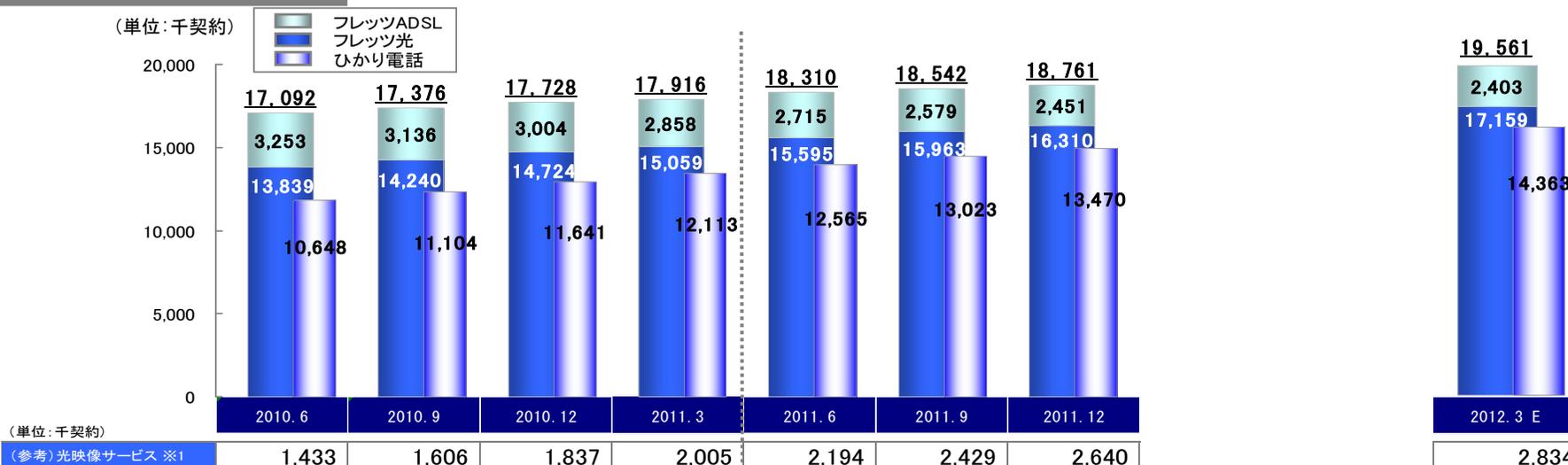
# ブロードバンド・サービスの進展

# 固定ブロードバンドの契約数



フレッツ光ライトの拡大やWi-Fiとのセット利用促進による新規ユーザの獲得や解約抑止に向けた取組み等により、年間計画の達成を目指す。

## 契約数



## 対前四半期別純増(減)数

	2011.3期				2012.3期				2011.3期 通期実績	2012.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	3Q累計		
フレッツ 光 ※2	588	401	484	335	536	368	347	1,252	1,808	2,100
開通数 ※3	1,018	809	897	849	1,019	874	848	2,741	3,573	4,100
フレッツADSL	▲ 129	▲ 117	▲ 132	▲ 147	▲ 142	▲ 136	▲ 128	▲ 407	▲ 524	▲ 455
ひかり電話 ※4	506	457	537	472	453	457	447	1,357	1,971	2,250

※1. 光映像サービスは、ひかりTVとフレッツ・テレビの契約数を合わせて記載しております。

※2. フレッツ光は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト及びフレッツ 光ライト、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクストを含めて記載しております。

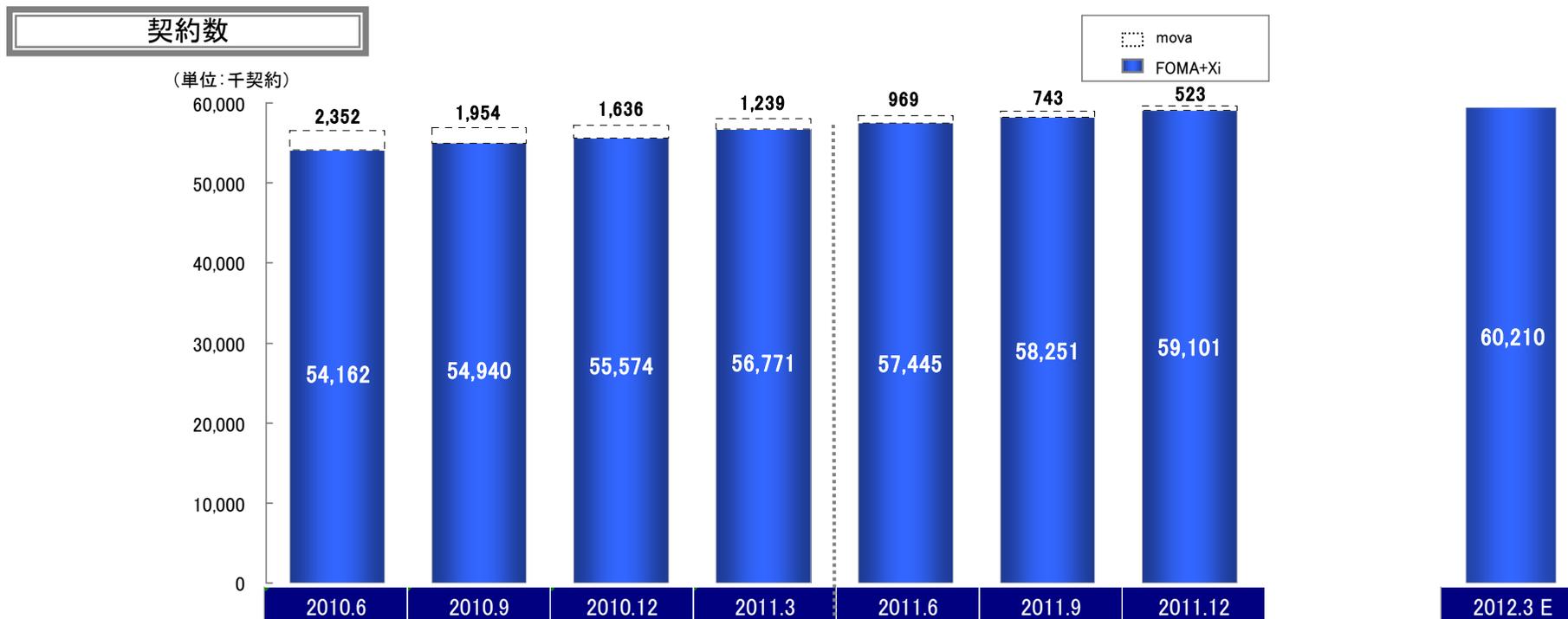
※3. 開通数は移転による開通分を除いて記載しております。

※4. ひかり電話は、チャンネル数(単位:千)を記載しております。

# 移動ブロードバンドの契約数



スマートフォンの販売強化やお客様満足度の更なる向上等の取組みにより、年間計画の達成を目指す。



**対前四半期別純増数**

(単位: 千契約)

	2011.3期				2012.3期			2011.3期 通期実績	2012.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12		
FOMA+Xi	959	778	633	1,197	674	805	851	3,568	3,440
mova	▲ 526	▲ 398	▲ 318	▲ 398	▲ 269	▲ 227	▲ 220	▲ 1,640	▲ 1,240

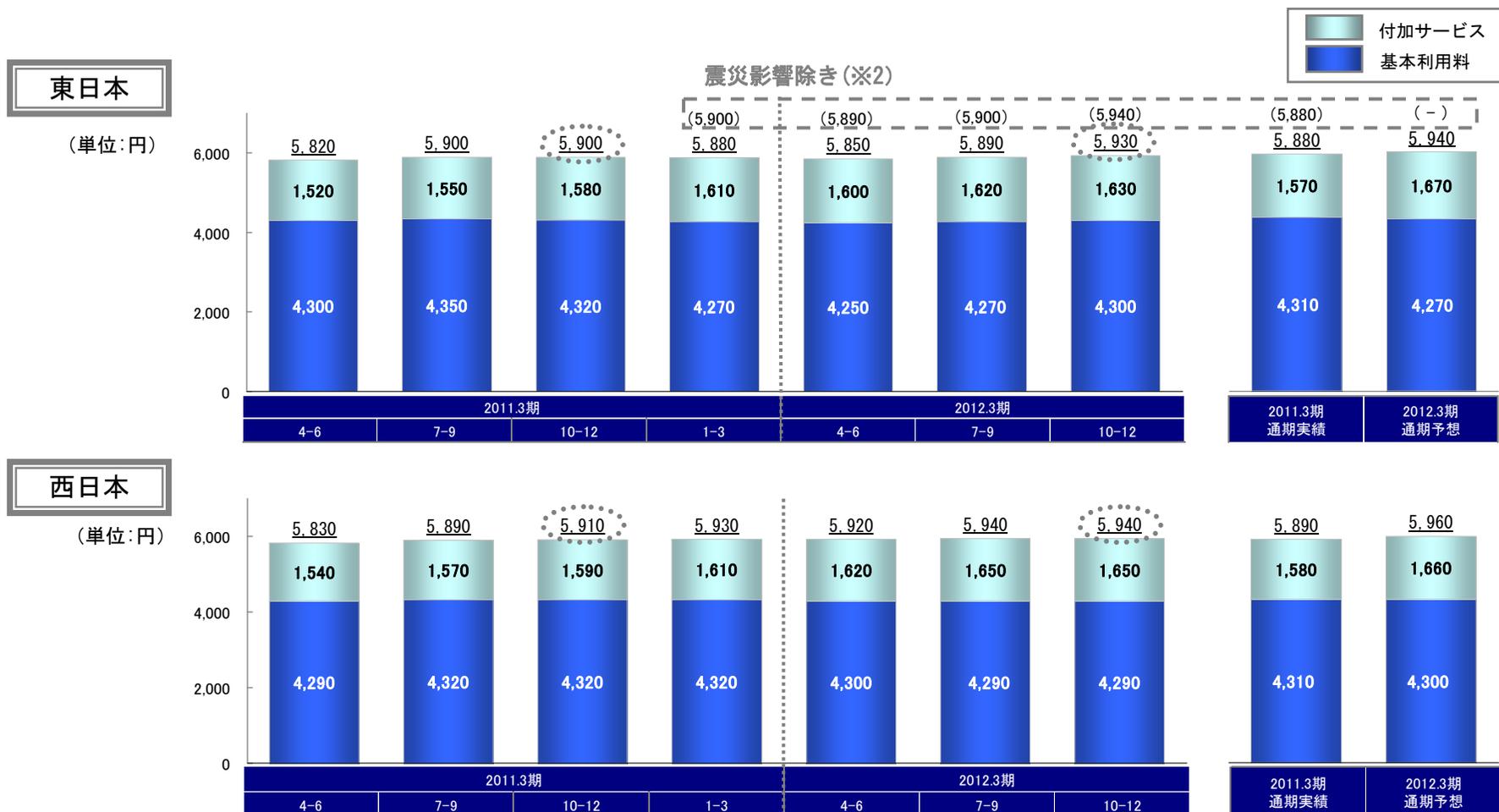
3Q累計純増161万契約

※通信モジュールサービス契約数は移動ブロードバンド契約数に含めて記載しております

# 固定ブロードバンド（フレッツ光）のARPU



ひかり電話等付加サービスの拡大などにより対前年比増加。



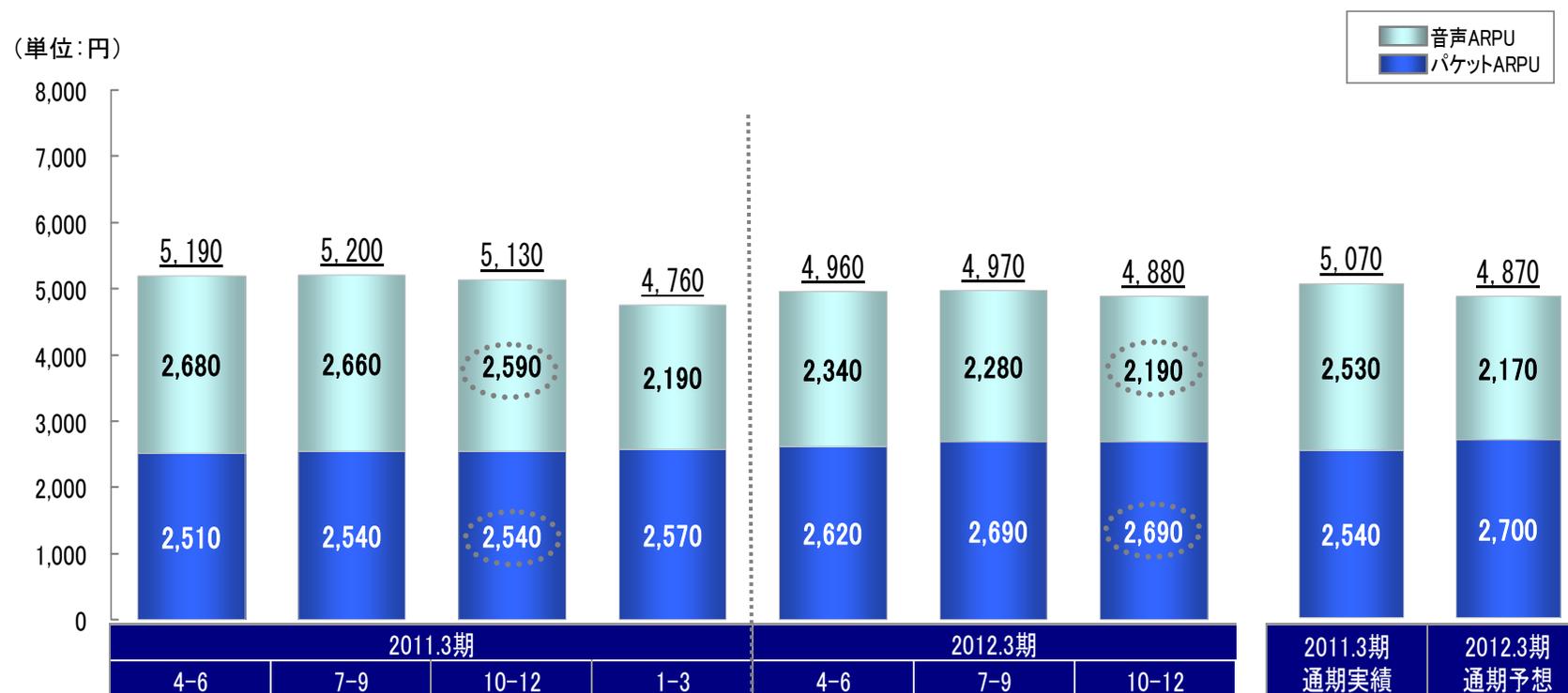
※1 フレッツ光は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト及びフレッツ 光ライト、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ光ネクストを含めて記載しております。なお、各ARPUの算定方法等については、24ページをご参照下さい。

※2 ARPU算定上の契約数から、東日本大震災の影響によりお客様に料金請求を行っていない契約数を差し引いたうえで算定した場合の参考値。

# 移動ブロードバンド（FOMA、Xi）※のARPU



パケットARPUは、スマートフォン、データプラン契約の拡大や各種コンテンツの充実などにより、対前年比増加。



※ 通信モジュールサービスは、ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めておりません。

※ movaサービスは、終了予定である2012年3月末まで、ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めております。  
 なお、各ARPUの算定方法等については、24ページをご参照下さい。

# 映像サービスの契約数



- 第3四半期は、ひかりTVが17万契約の純増となったことなどから、12月末の契約数は264万まで増加。
- 今後は、引き続きコンテンツやサービスの拡充に取り組み、顧客基盤の拡大を図る。

(単位: 万契約)



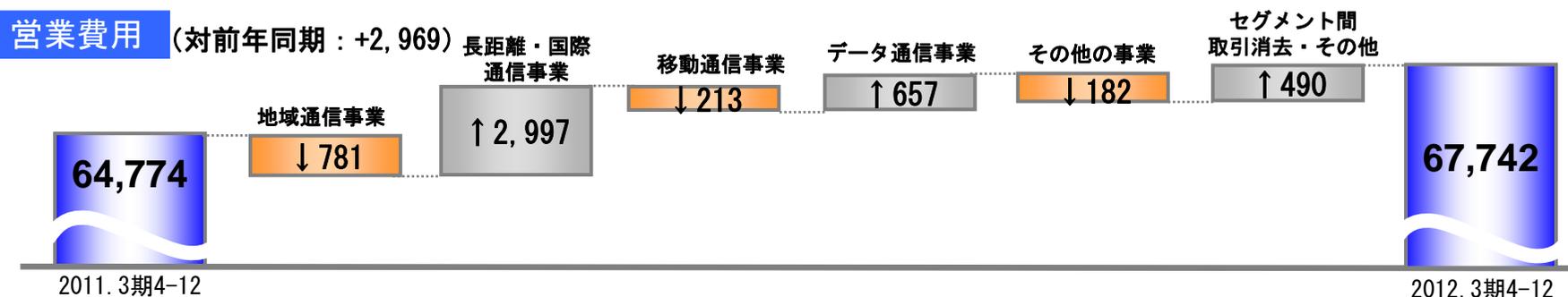
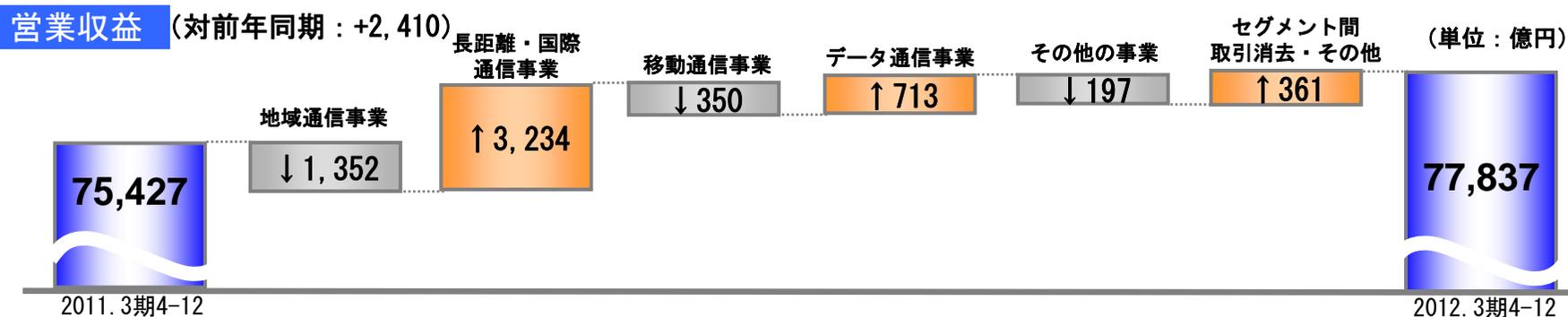
※ 「フレッツ・テレビ」はNTT東西の「フレッツ・テレビ伝送サービス」の契約と、オプティキャストの放送サービス「オプティキャスト施設利用サービス」の契約により提供されるサービスです。

# 財務状況

# セグメント別の状況



- 地域通信事業：音声収入の減等により、減収減益。
- 長距離・国際通信事業：ディメンションデータの子会社化等により、増収増益。
- 移動通信事業：音声収入の減等により、減収減益。
- データ通信事業：連結子会社拡大により、増収増益。

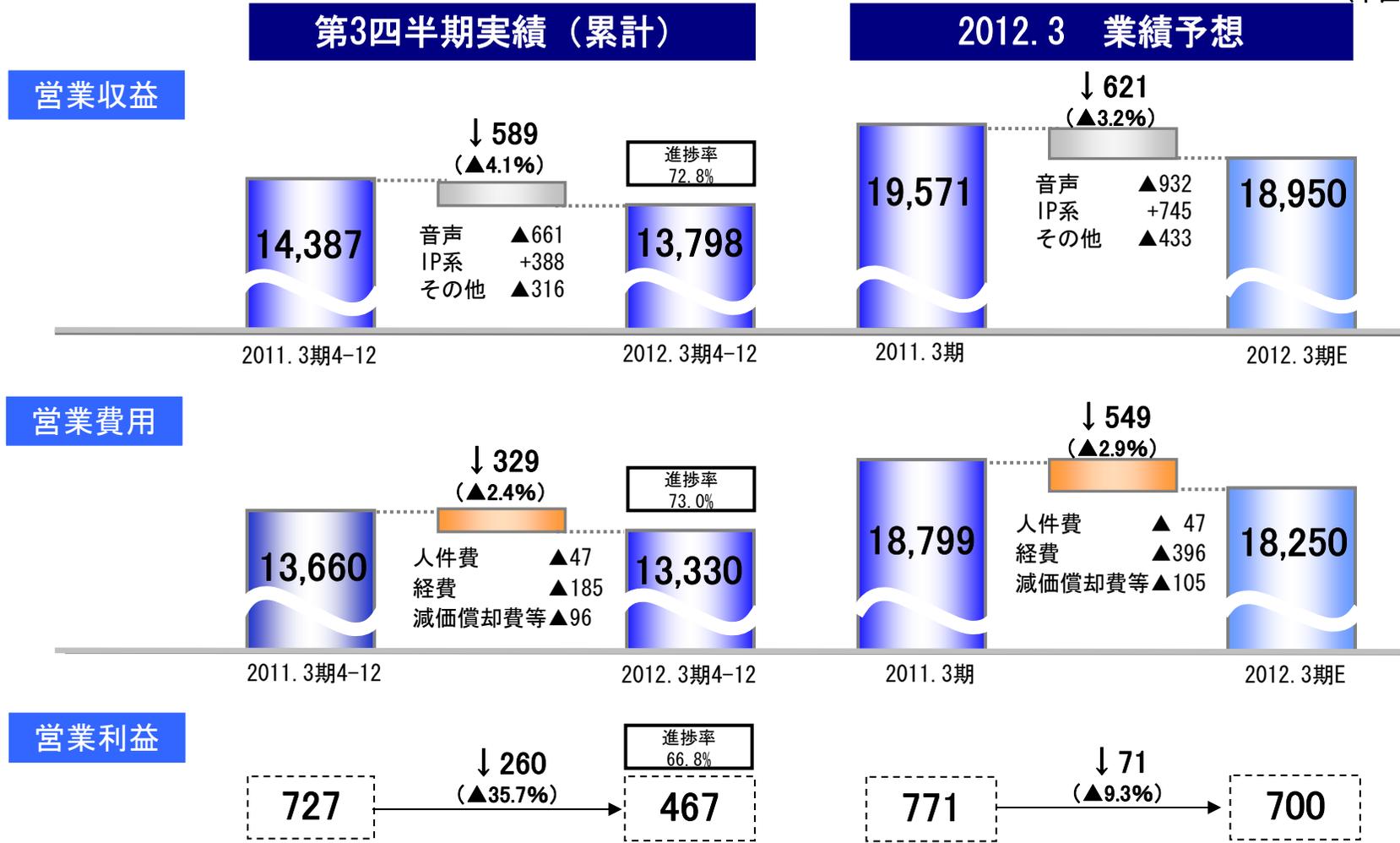


**営業利益** (対前年同期：▲559)

2011.3期 4-12実績	地域通信 事業	長距離・国際 通信事業	移動通信 事業	データ通信 事業	その他の 事業	セグメント間 取引消去・その他	2012.3期 4-12実績
10,653	↓ 570	↑ 237	↓ 137	↑ 56	↓ 16	↓ 129	10,094

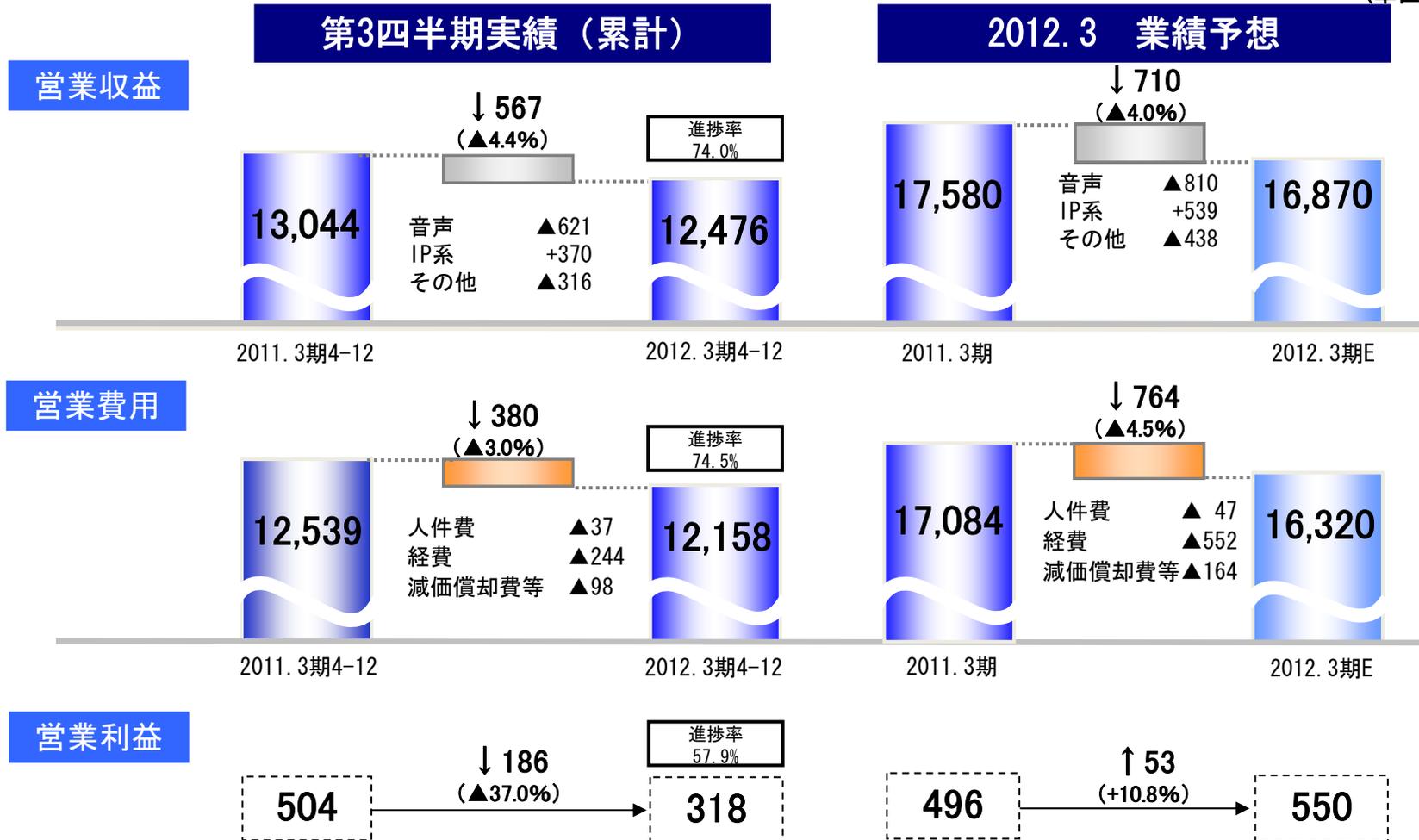
震災により基本料収入が回復しない影響やIP系収入の伸びの鈍化等により、減収減益。

(単位：億円)



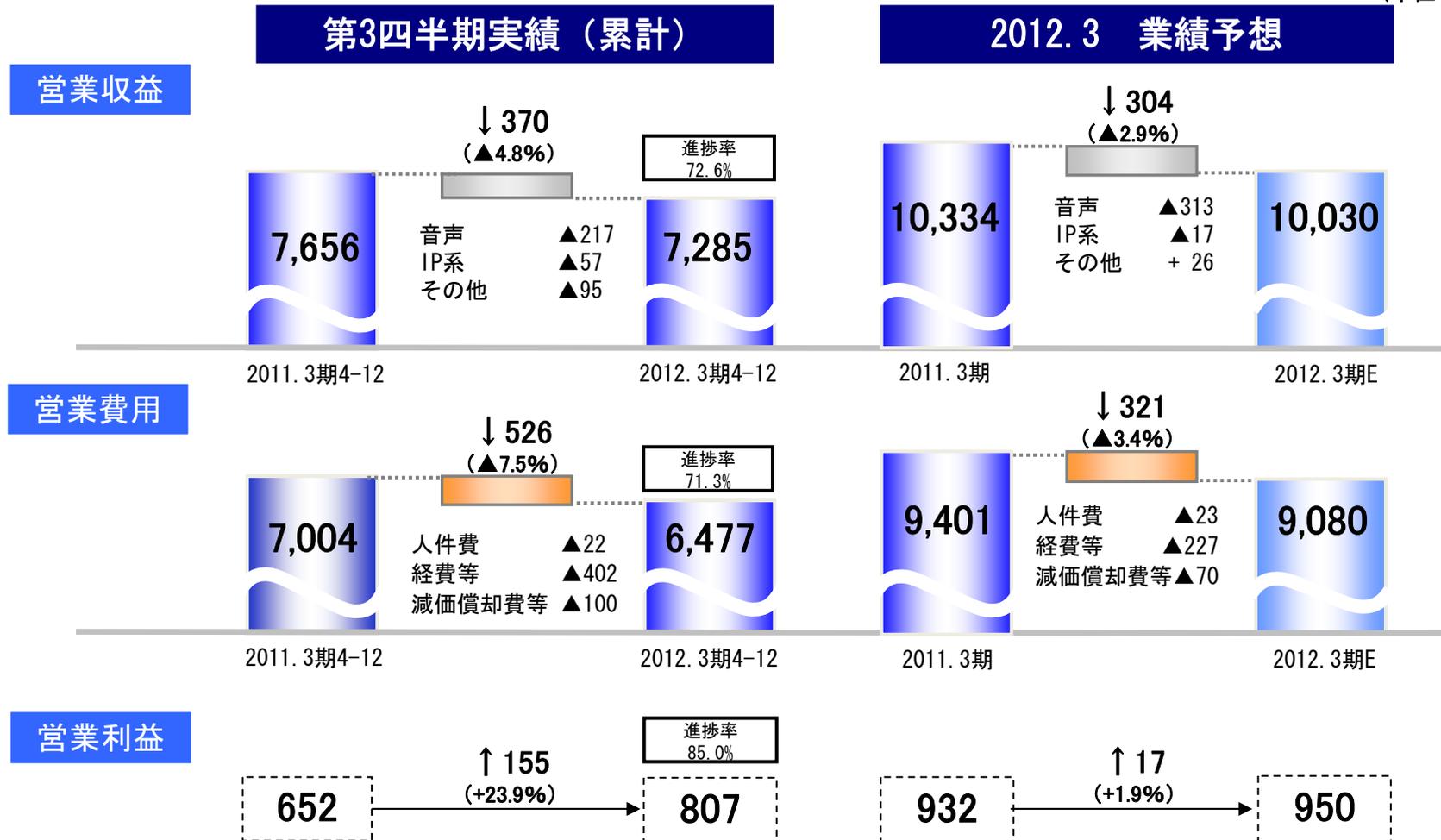
IP系収入の伸びの鈍化等により、減収減益。

(単位：億円)



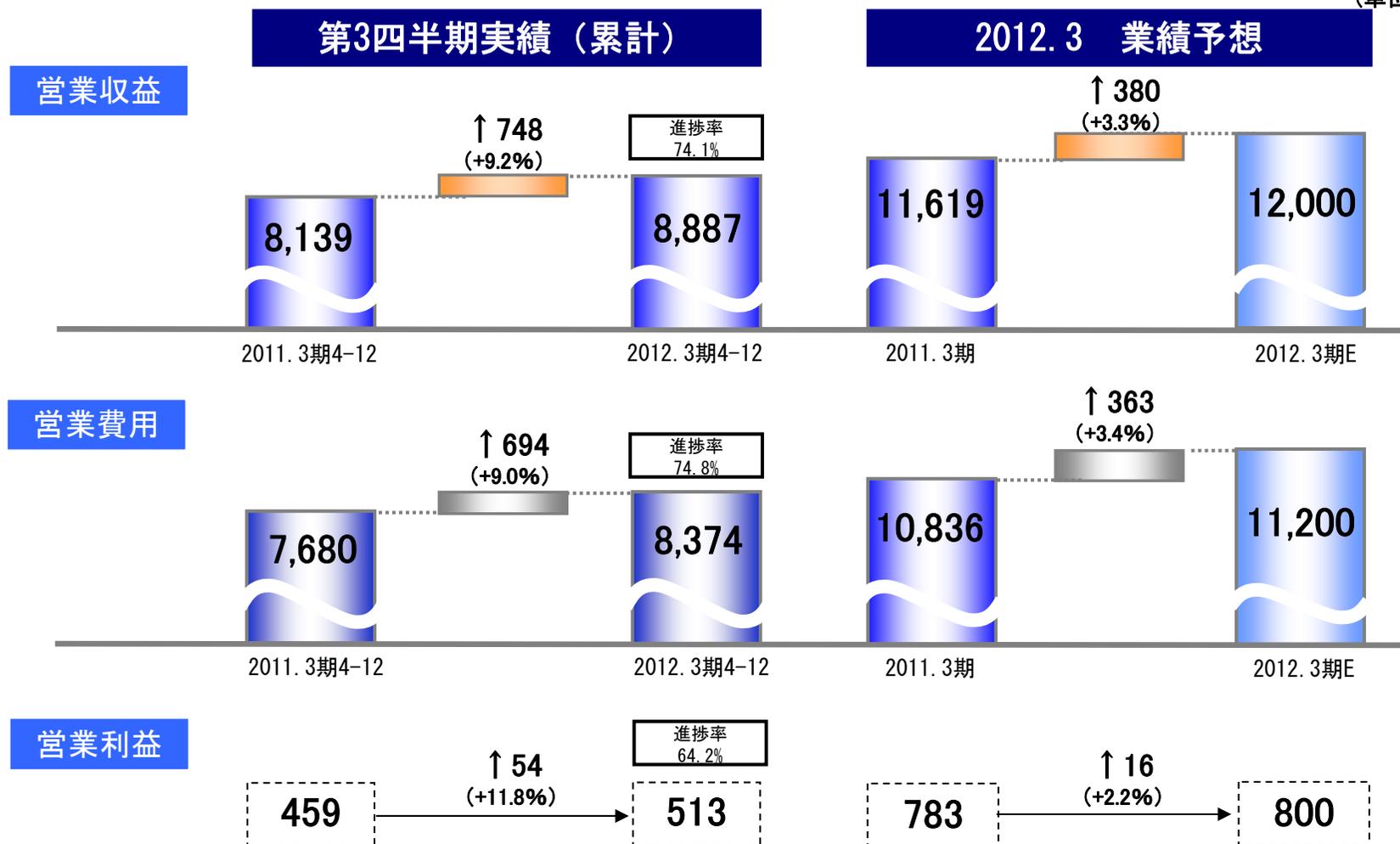
減収傾向が継続する中、徹底したコスト削減等により、減収増益。

(単位：億円)



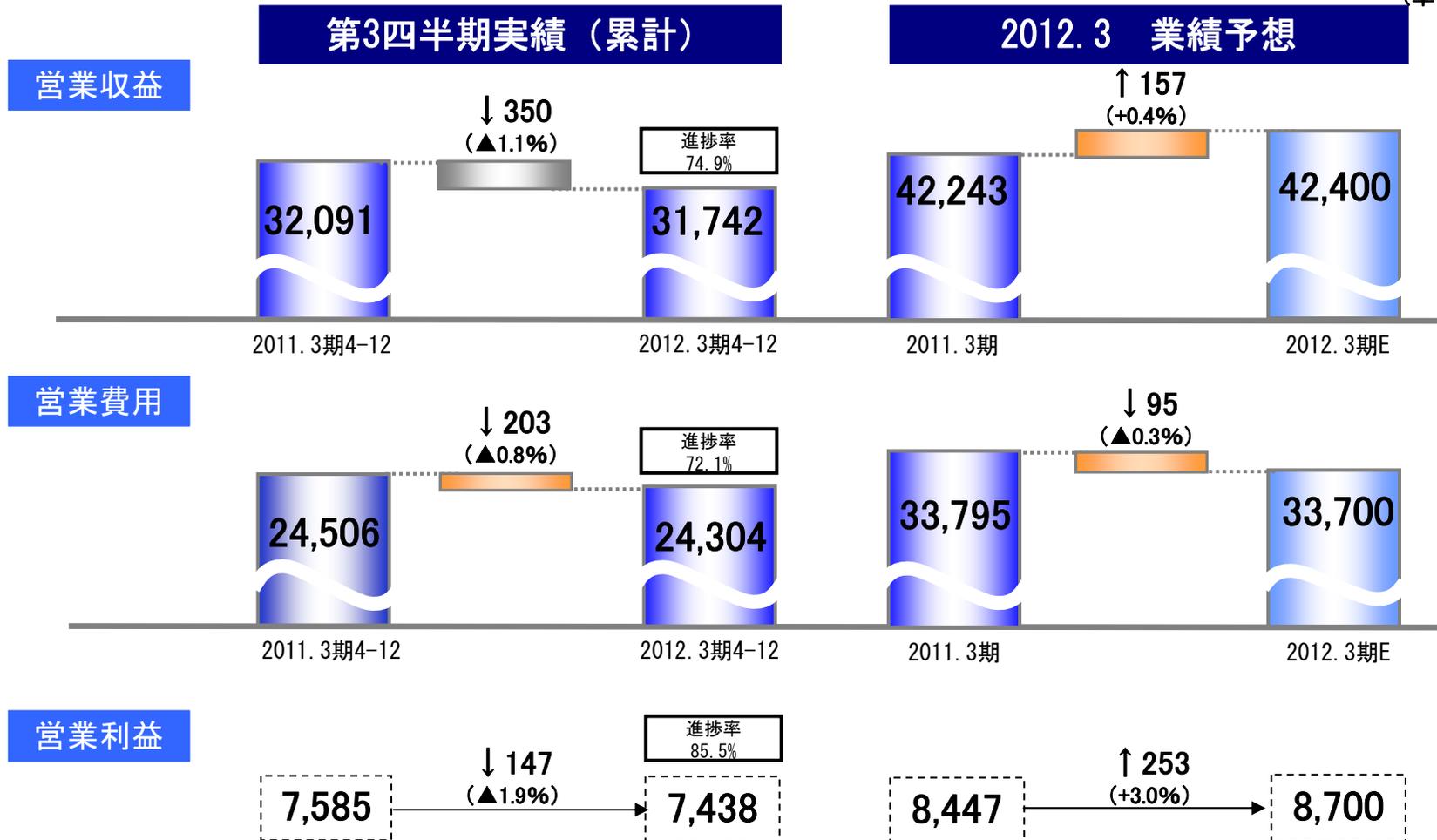
連結子会社拡大影響により増収増益。

(単位：億円)



昨年度に実施したロイヤリティプログラムの見直し影響を除けば、実質的には増益。

(単位：億円)

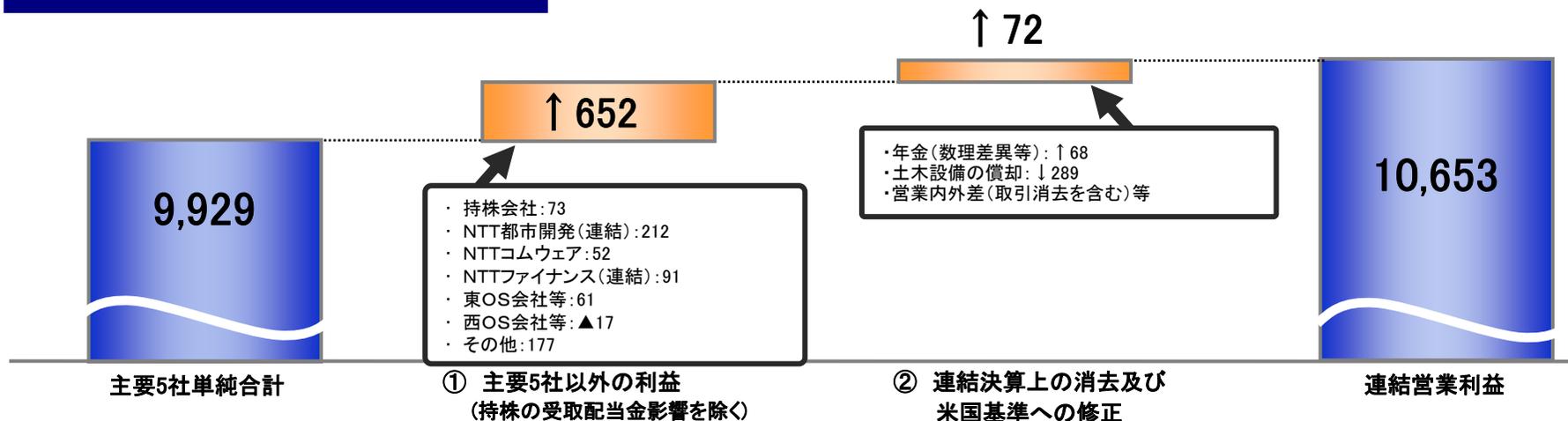


# 連結営業利益と主要5社営業利益単純合計の差の内訳

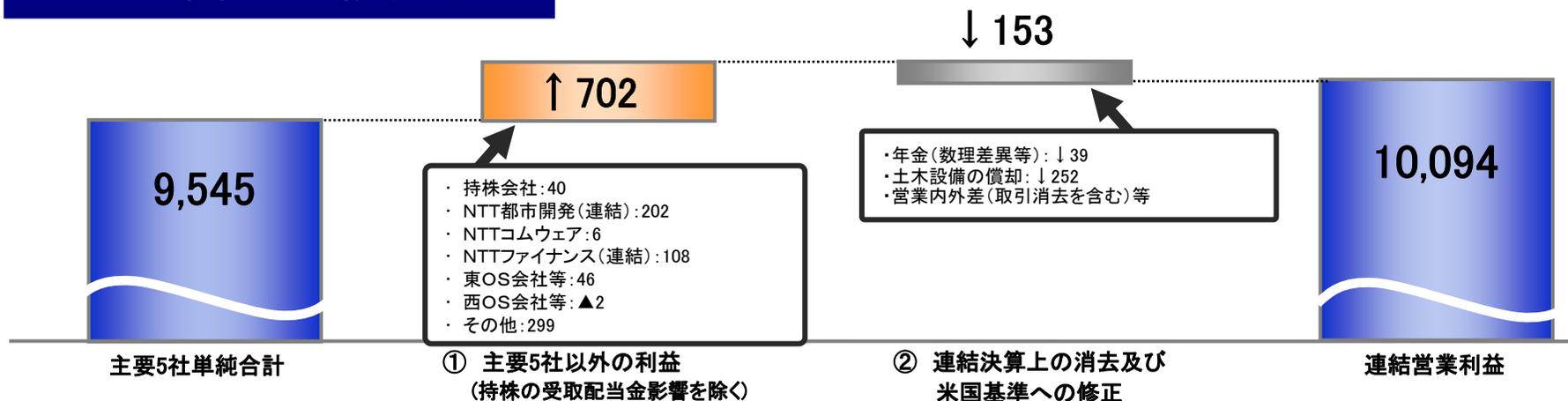


2011.3月期 第3四半期実績(累計)

(単位：億円)



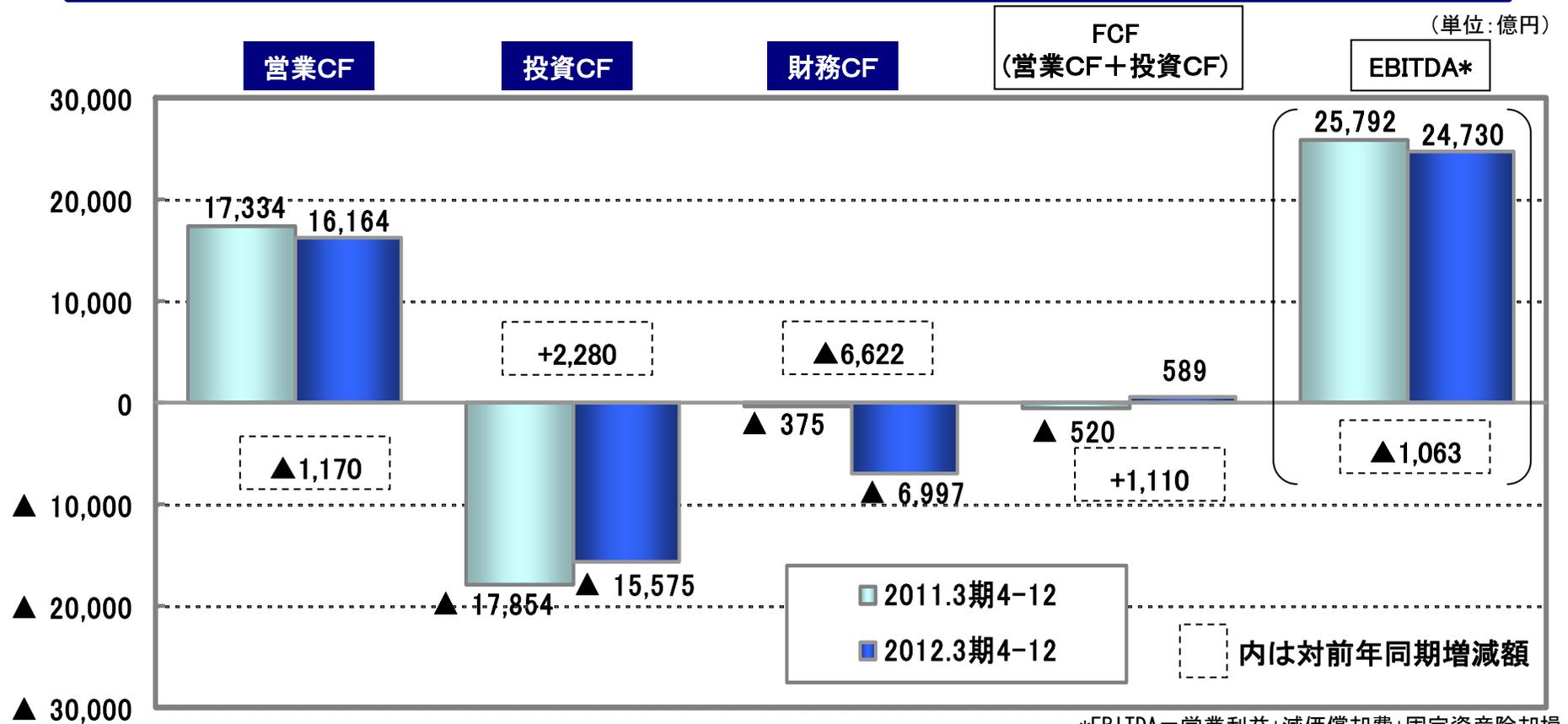
2012.3月期 第3四半期実績(累計)



# 連結キャッシュ・フローの状況



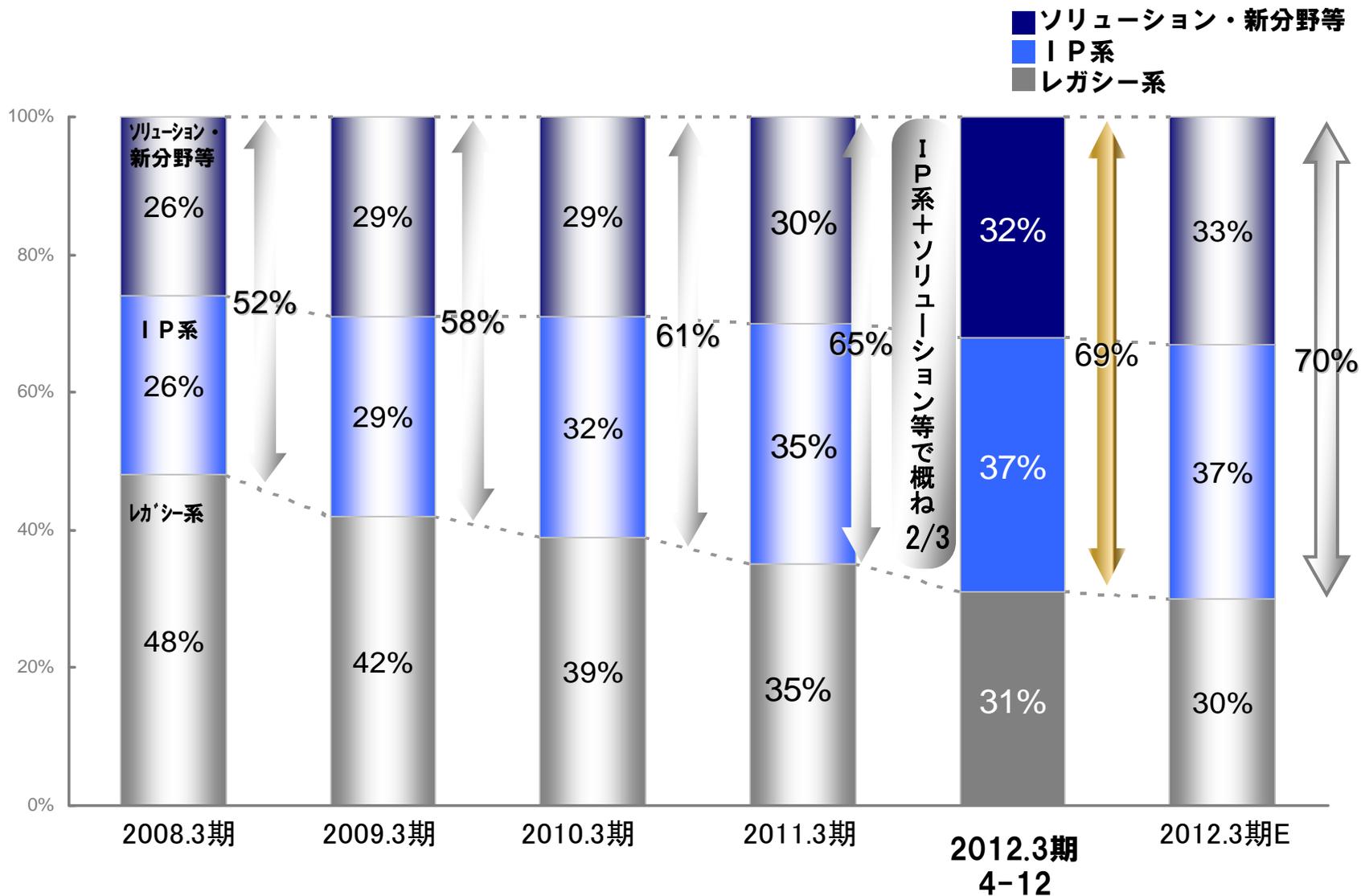
- 営業CFは、四半期純利益の減少や買掛金等の支払の増加などにより減少。投資CFは、M&Aに関わる支出の減などにより減少。
- FCFは対前年同期1,110億円増加の589億円。
- 財務CFは、自己株式の取得や借入債務の減少などにより支出が増加。



\*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 固定資産除却損

# 事業構造の改革

## 連結売上高の構成比イメージ



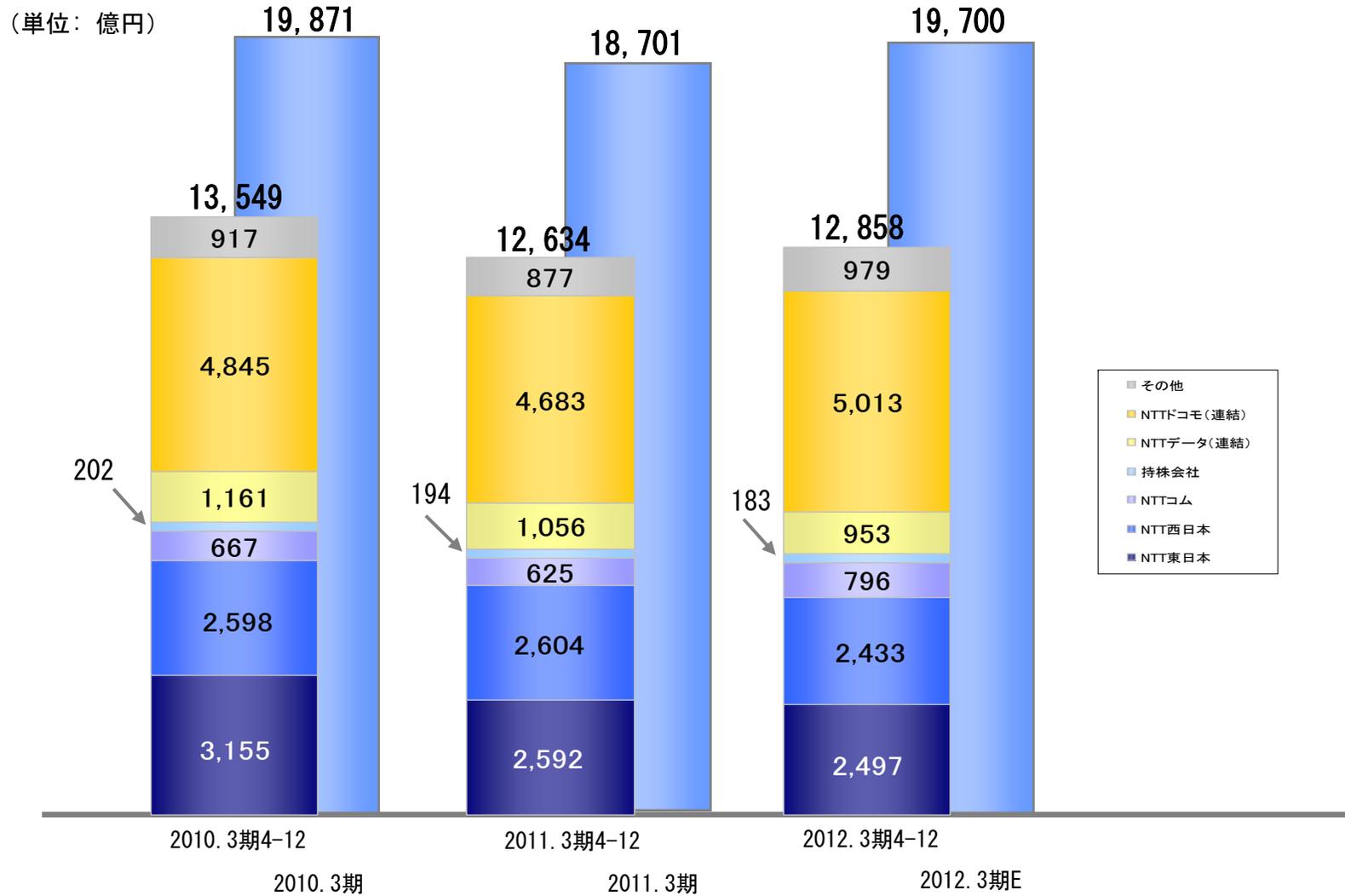
## Appendices

- 連結の第3四半期実績は、損益約250億円、設備投資約100億円。
- 通期業績予想は、想定通りとなる損益約300億円、設備投資約300億円を見込む。

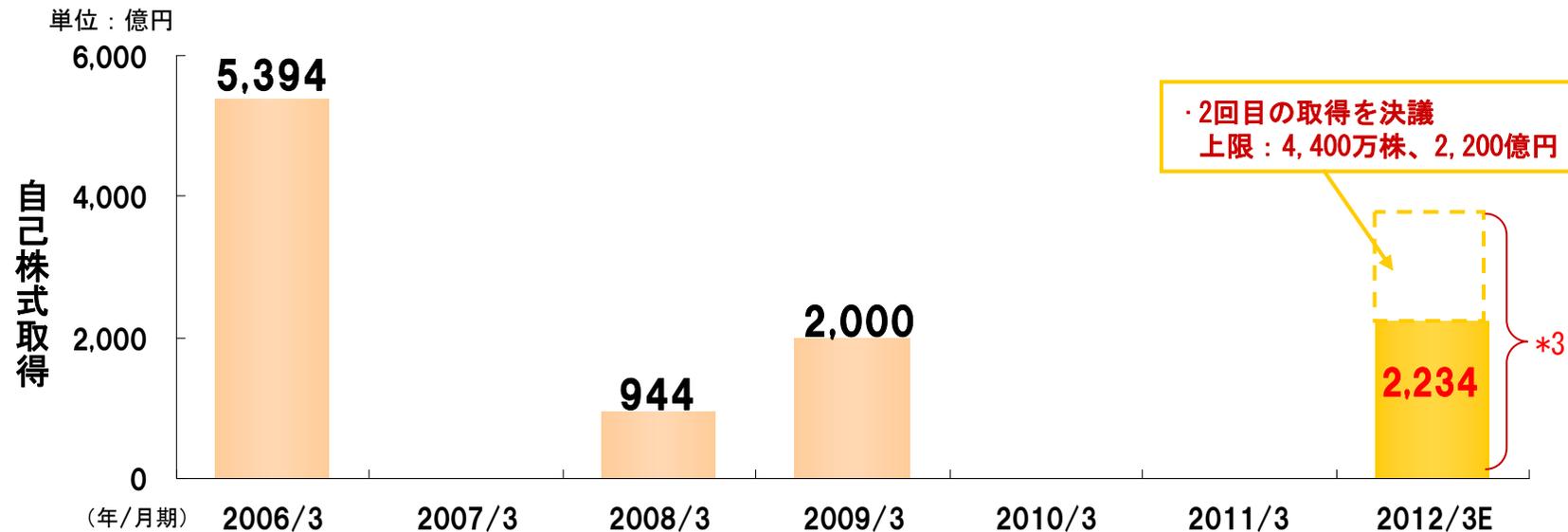
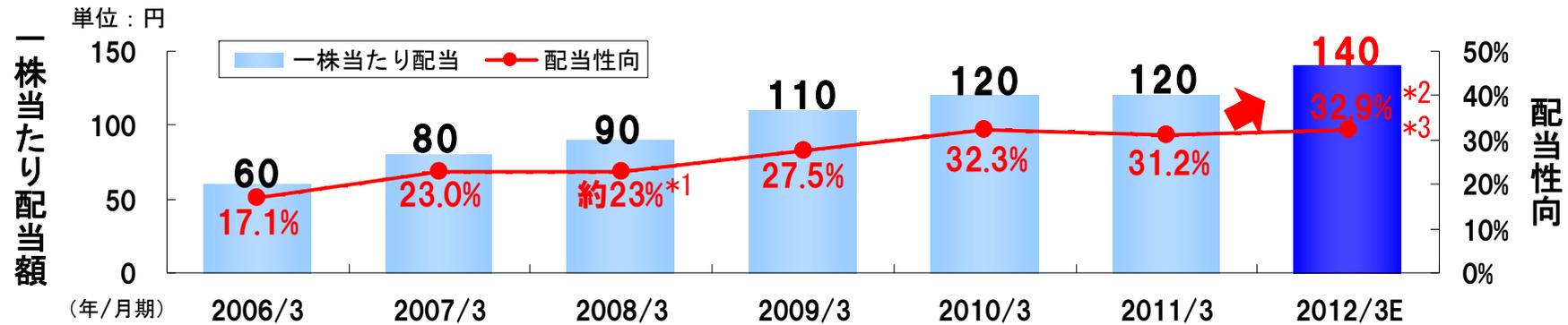
(単位：億円)

	2012年3月期 第3四半期実績（累計）		(再掲) 2012年3月期 (10月－12月)		2012年3月期 通期業績予想	
	損益	設備投資	損益	設備投資	損益	設備投資
東日本	120	80	40	10	約180	約250
ドコモ	100	20	10	10	約100	約50
その他	30	—	0	—	約20	—
NTT連結	250	100	50	20	約300	約300

# 設備投資額の状況



# 株主還元



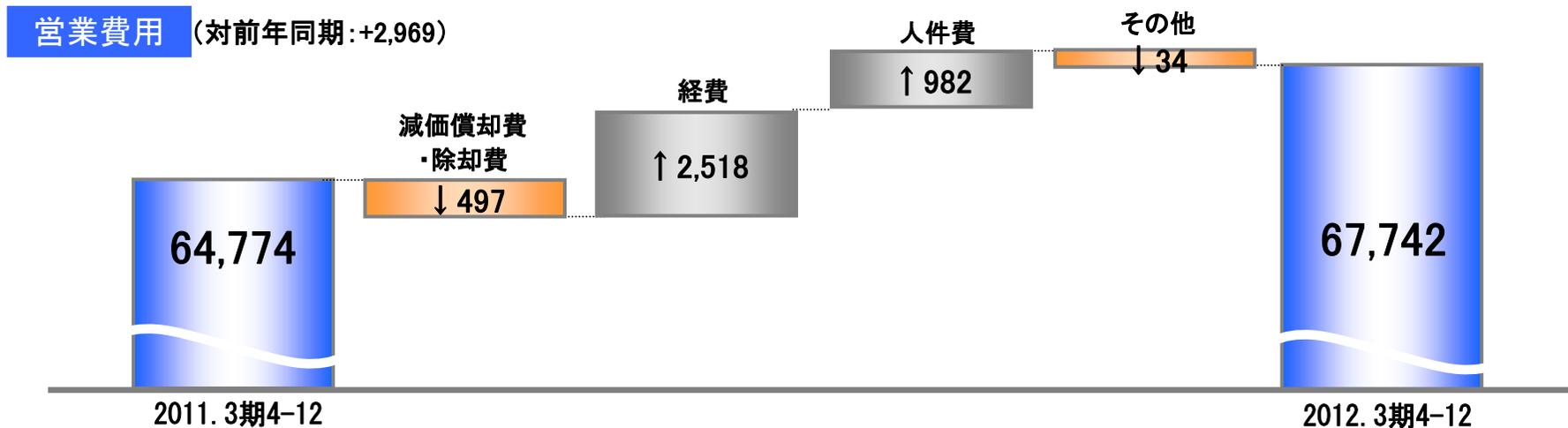
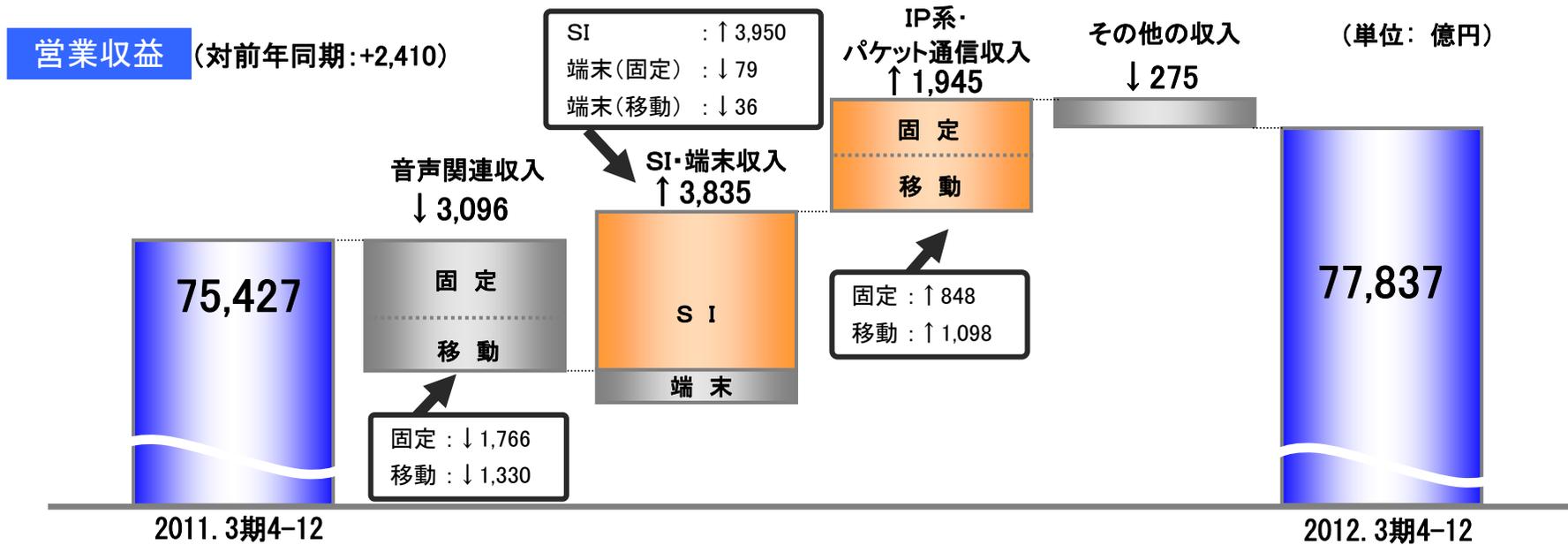
\*1 代行返上等の特殊要因を除く。

\*2 法人税法等の改正に伴う影響を除く。当該影響を含めた場合の配当性向は38.6%。

\*3 政府売却予定として予算に計上されている9,933万株を全て買い取り、自己株式とする前提。

(注) 2010年3月末の保有自己株式(2億5千万株)を全株消却する方針を決議(2010年5月)し、①2010年11月に2分の1を消却、②2011年11月に残り2分の1を消却。

# 2012年3月期第3四半期決算 科目別の状況

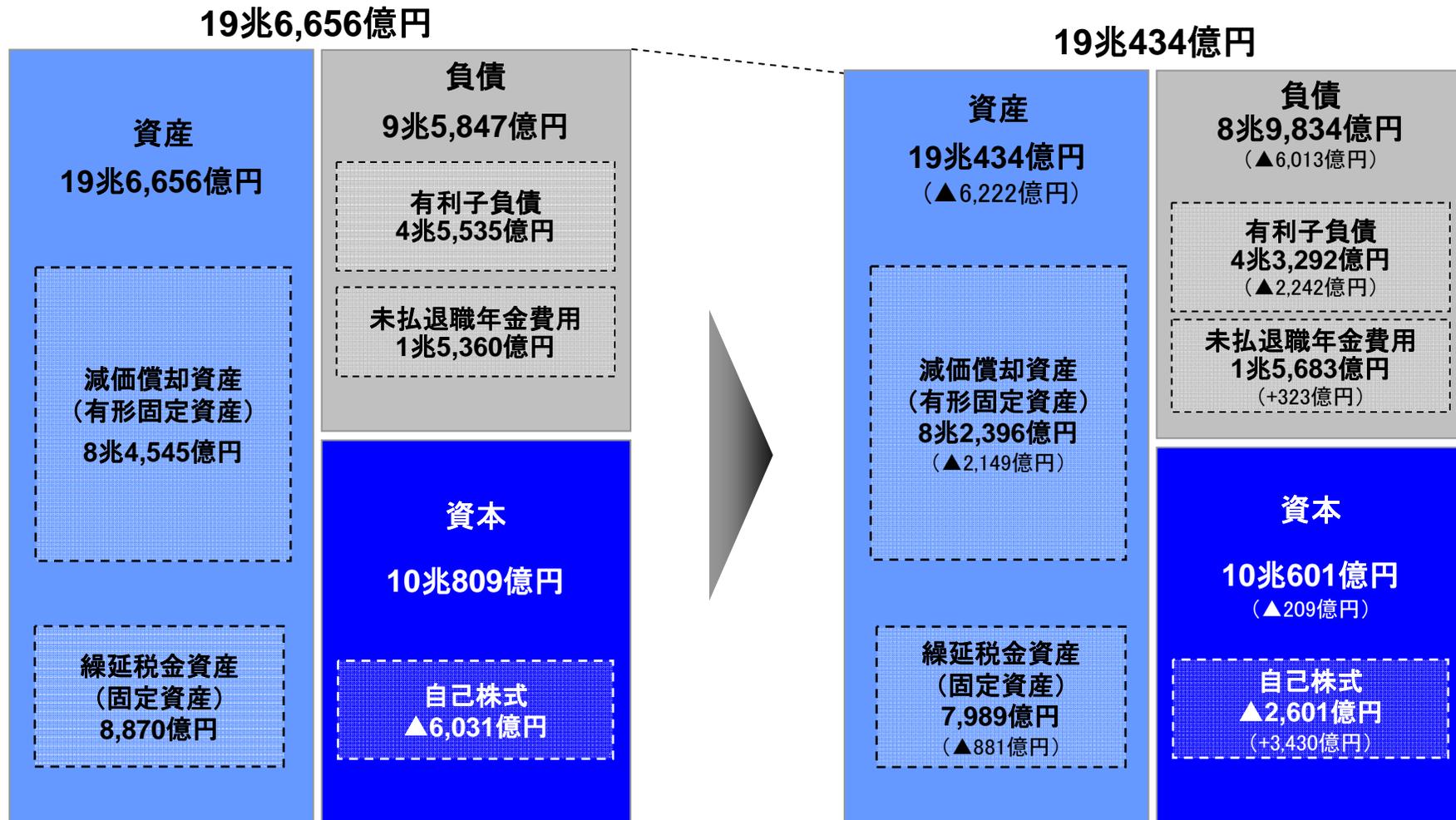


# 連結貸借対照表の状況



2011年3月期末

2012年3月期第3四半期末



# 連結及び主要な会社別の2012年3月期第3四半期決算の概況

(単位:億円)

区 分	※1 NTT連結	NTT(持株)	NTT東日本	NTT西日本	NTTコム	NTTデータ	NTTドコモ
	<米国基準>	<日本基準・単独>	<日本基準・単独>	<日本基準・単独>	<日本基準・単独>	<日本基準・連結>	<米国基準・連結>
<b>営業収益</b>	<b>77,837</b>	<b>3,701</b>	<b>13,798</b>	<b>12,476</b>	<b>7,285</b>	<b>8,887</b>	<b>31,742</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	2,410 (3.2%)	226 (6.5%)	▲ 589 (▲4.1%)	▲ 567 (▲4.4%)	▲ 370 (▲4.8%)	748 (9.2%)	▲ 350 (▲1.1%)
業績予想 (進捗率)	105,400 (73.8%)	4,120 (89.8%)	18,950 (72.8%)	16,870 (74.0%)	10,030 (72.6%)	12,000 (74.1%)	42,400 (74.9%)
<b>営業費用</b>	<b>67,742</b>	<b>1,076</b>	<b>13,330</b>	<b>12,158</b>	<b>6,477</b>	<b>8,374</b>	<b>24,304</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	2,969 (4.6%)	6 (0.6%)	▲ 329 (▲2.4%)	▲ 380 (▲3.0%)	▲ 526 (▲7.5%)	694 (9.0%)	▲ 203 (▲0.8%)
業績予想 (進捗率)	92,900 (72.9%)	1,550 (69.5%)	18,250 (73.0%)	16,320 (74.5%)	9,080 (71.3%)	11,200 (74.8%)	33,700 (72.1%)
<b>営業利益</b>	<b>10,094</b>	<b>2,624</b>	<b>467</b>	<b>318</b>	<b>807</b>	<b>513</b>	<b>7,438</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	▲ 559 (▲5.2%)	220 (9.2%)	▲ 260 (▲35.7%)	▲ 186 (▲37.0%)	155 (23.9%)	54 (11.8%)	▲ 147 (▲1.9%)
業績予想 (進捗率)	12,500 (80.8%)	2,570 (102.1%)	700 (66.8%)	550 (57.9%)	950 (85.0%)	800 (64.2%)	8,700 (85.5%)
<b>※2税引前利益</b>	<b>10,109</b>	<b>2,607</b>	<b>630</b>	<b>401</b>	<b>930</b>	<b>471</b>	<b>7,441</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	▲ 206 (▲2.0%)	257 (11.0%)	▲ 256 (▲28.9%)	▲ 240 (▲37.5%)	173 (22.9%)	42 (9.8%)	▲ 46 (▲0.6%)
業績予想 (進捗率)	12,400 (81.5%)	2,550 (102.3%)	850 (74.2%)	650 (61.7%)	1,050 (88.6%)	730 (64.6%)	8,740 (85.1%)
<b>四半期純利益</b>	<b>※3 3,592</b>	<b>2,584</b>	<b>223</b>	<b>184</b>	<b>525</b>	<b>163</b>	<b>※4 3,946</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	▲ 991 (▲21.6%)	247 (10.6%)	▲ 338 (▲60.2%)	▲ 299 (▲61.9%)	102 (24.2%)	▲ 64 (▲28.4%)	▲ 494 (▲11.1%)
業績予想 (進捗率)	4,650 (77.2%)	2,540 (101.7%)	310 (72.1%)	360 (51.1%)	580 (90.7%)	330 (49.6%)	4,740 (83.3%)

※1 連結子会社 764社 持分法適用会社 101社

※2 NTT(持株)~NTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

※3 NTT連結の四半期純利益は、当社に帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

※4 NTTドコモの四半期純利益は、NTTドコモに帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

# ARPUの算定方法等

1契約当たりの月間平均収入（ARPU）は、契約者1人当たりの平均的な月間営業収益を算定するために使われます。固定通信事業の場合、ARPUは、地域通信事業の営業収益のうち、加入電話、INSネット、及びフレッツ光の提供により毎月発生する収入を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。移動通信事業の場合、ARPUは、移動通信事業の営業収益のうち、携帯電話（FOMA）と携帯電話（movi）及び携帯電話（Xi）のサービス提供により毎月発生する収入（基本使用料、通信用料/通話料）を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。これら数字の計算からは、各月の平均的な利用状況を表さない端末機器販売、契約事務手数料、ユニバーサルサービス料などは除いています。こうして得られたARPUは各月のお客様の平均的な利用状況を把握する上で有用な情報を提供するものであると考えております。尚、ARPUの分子に含まれる収入は米国会計基準による連結決算値を構成する財務数値により算定しております。

①NTT東日本及びNTT西日本のARPUは、以下の4種類に分けて計算をしております。

- ・ 音声伝送収入（IP系除く）に含まれる加入電話とINSネットの基本料、通信・通話料、及びIP系収入に含まれるフレッツADSL、フレッツISDNからの収入に基づいて計算される固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）。
- ・ 加入電話の基本料、通話料、フレッツADSLからの収入に基づいて計算される加入電話ARPU。
- ・ INSネットの基本料、通信・通話料、フレッツISDNからの収入に基づいて計算されるINSネットARPU。
- ・ IP系収入に含まれるフレッツ光、フレッツ光のオプションサービスからの収入、ひかり電話における基本料・通信用料・機器利用料、及び附帯事業営業収益に含まれるフレッツ光のオプションサービス収入に基づいて計算されるフレッツ光ARPU。
  - フレッツ光はNTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト及びフレッツ 光ライト、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクストを含めて記載しております。

②固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）、加入電話ARPU、INSネットARPU及びフレッツ光ARPUには相互接続通話料が含まれておりません。

③固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）、加入電話ARPU及びINSネットARPU算定上の契約数は、各サービスの契約数であります。

④固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）及びINSネットARPUの算定上、INSネット1500の契約数は、チャンネル数、伝送速度、回線使用料（基本料）いずれについてもINSネット64の10倍程度であることから、INSネット1500の1契約をINSネット64の10倍に換算しております。

⑤フレッツ光ARPU算定上の契約数は、フレッツ光の契約数（フレッツ光はNTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト及びフレッツ 光ライト、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクストを含む）であります。

⑥NTTドコモのARPUは、以下の3種類に分けて計算をしております。

- ・ 携帯電話総合ARPU（FOMA+movi+Xi）＝ 音声ARPU（FOMA+movi+Xi）＋ パケットARPU（FOMA+movi+Xi）
  - 音声ARPU（FOMA+movi+Xi）は、音声サービスの基本使用料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（FOMA+movi+Xi）は、パケットサービスの基本使用料と通信用料の収入に基づいております。
- ・ 携帯電話総合ARPU（FOMA）＝ 音声ARPU（FOMA）＋ パケットARPU（FOMA）
  - 音声ARPU（FOMA）は、音声サービスの基本使用料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（FOMA）は、パケットサービスの基本使用料と通信用料の収入に基づいており、いずれもFOMAサービスによるものです。
- ・ 携帯電話総合ARPU（movi）＝ 音声ARPU（movi）＋ パケットARPU（movi）
  - 音声ARPU（movi）は、音声サービスの基本使用料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（movi）は、パケットサービスの基本使用料と通信用料の収入に基づいており、いずれもmoviサービスによるものです。

⑦通信モジュールサービス、電話番号保管サービス及びメールアドレス保管サービスは、携帯電話総合ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めておりません。

⑧NTT東日本及びNTT西日本におけるARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 第1四半期（4月～6月）実績=4月～6月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 第2四半期（7月～9月）実績=7月～9月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 第3四半期（10月～12月）実績=10月～12月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 第4四半期（1月～3月）実績=1月～3月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 第3四半期累計（4月～12月）実績=4月～12月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 通期実績=4月～3月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 通期予想=4月～9月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計と下期平均稼働契約数（9月末契約数+3月末予想契約数）/2 × 6の合計

⑨NTTドコモにおけるARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 第1四半期（4月～6月）実績=4月～6月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 第2四半期（7月～9月）実績=7月～9月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 第3四半期（10月～12月）実績=10月～12月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 第4四半期（1月～3月）実績=1月～3月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 第3四半期累計（4月～12月）実績=4月～12月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計
- ・ 通期実績/予想=4月～3月までの各月稼働契約数（前月末契約数+当月末契約数）/2の合計

⑩平成24年3月期通期予想については、第2四半期決算時に発表した数値から変更しておりません。